金型分科会 第43回セミナー・型技術協会 次世代金型研究会 第2回金型コア技術セミナー「金型とIoT」

金型加工現場におけるIoTの適応事例紹介



シムックス株式会社 代表取締役 中島高英

はじめに

解決方法=取り組みの手順と手法を事例を交えて説明します

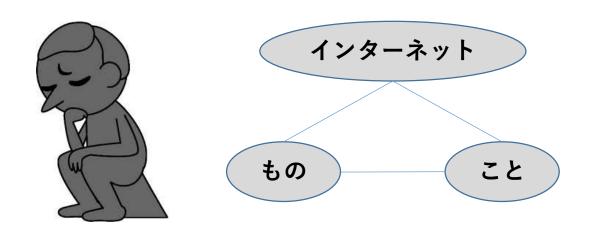
IoTに関心はあるが、どう進めてよいか悩んでいる方のために

- ・ITとIoTの違い ITの延長線上で考えてはダメ
- ・loTはテクノロジーではない メソッド(方法)が先にある
- ・Keyword オープンイノベーション、仮説検証、概念実証(PoC)
- ・事例紹介 オープンに取り組んだ 長津製作所様との事例
- ・これから先 どうなるか?

第一に ITとIoTの違いをしっかり理解してください

IT: Information Technologyの略語 情報技術

IoT: Internet of Thingsの略語 物事のインターネット



インターネットのバズワード(流行り言葉)

2013~2014年 ビッグデータ/仮想アシスタント

- •3 Dプリンティング
- •ウェアラブル
- •仮想アシスタント
- •コンテンツマーケティング
- •暗号通貨
- •ビッグデータ
- •データサイエンス

2011~2012年 ソーシャルメディア/モバイルの躍進

- •クラウドソーシング
- •ソーシャルネットワーキング
- •アクティビティストリーム
- •ゲーミフィケーション
- •HTML5
- •BYOD
- •ワイヤレス送電

~2010年 Web/クラウドの活発化

- •ユビキタス
- •クラウドコンピューティング
- •XaaS (PaaS/SaaS/IaaSなど)
- •Web2.0
- •ロングテール
- A R (拡張現実)

2015~2016年

- •スマート・ロボット/スマートアドバイザ
- •loT/loTプラットフォーム
- •ブロックチェーン
- •コグニティブ・エキスパート・アドバイザー
- •人工知能/機械学習
- •FinTech
- •自律走行車
- •自然言語による質疑応答システム

2017年のAl everywhere

- •没入体験
- •デジタルプラットフォーム
- •コネクティッド ホーム
- •サーバレスPaaS
- •ブレインコンピュータインタフェース
- •ブロックチェーン/ビットコイン
- •人工知能
- •デジタル・ビジネス・コンサルティング・サービス
- •ポストモダンERP
- DevOps
- •ロボティクス・プロセス・オートメーション

結論 インターネットって難しくてよく分からない

もの

って何だ? →物体。残る。

製品部品ワーク材料原材料生産機械工作機械プレス機械工具治具金型

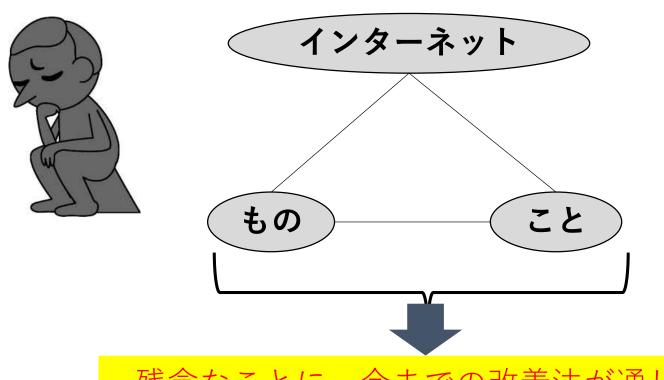
こと

って何だ? →事象。残らない。

不良品をつくる 刃具が折れる 機械がこわれる 加工プロセス そのもの

★IoTは、事象という残らないことを残す企て。 残し方をデジタル化と呼ぶ。

さて どうする? 3つを結び付けるのは、どうしたらよいか



残念なことに、今までの改善法が通じない



メソッド(方法)が必要

残念なことに、今までの改善法が通じない



メソッド(方法)とは?



オープンイノベーション



仮説検証

コネクテッド



概念実証(PoC)

事例紹介

オープンに取り組んだ 長津製作所様との事例

仮説検証とオープンな仕組み (メソッド/方法論) 仮説

IoTは現場に役立ち効率が上がる。それが新しいビジネスになる。

検証

他社と連携して**オープン**なチームを作って、成果を公開・公表 (**オープン**) するためにショールームを作った。 学会、雑誌に発表。

組織



IoTビジネスの創生

場の提供



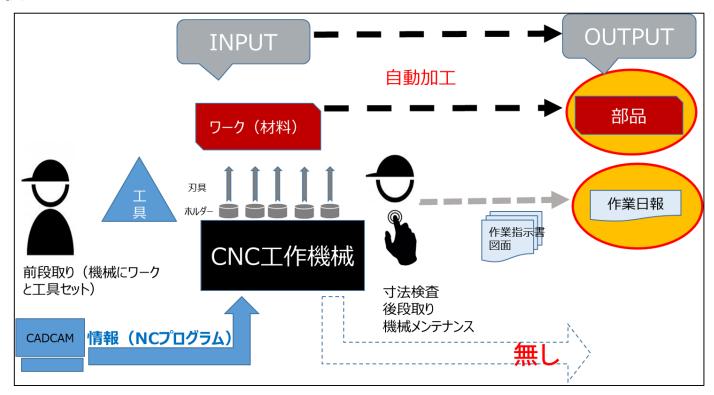
長津製作所

IoT機器の開発

シムックス

具体的なテーマは「つながる工場」

現状どうなっているか



課題

- ・旧い機械はつながらない
- ・メーカーが違うとつながらない
- ・データが取れても、どうしたらよいか分からない

「つながる工場」のためにマリンバM3が役立つ

旧いNC工作機械には Ethernet(LAN) もRS232Cも 付いていない。

旧いNC、CNC工作機械には RS232Cが付いているものが ある。

CNC工作機械はEthernet(LAN)からデータが取れるものもある。

信号を取る

通信機能のない機械



電力データ取得→メーカーを問わず電流値による稼動判定。 温度計測、パトランプ信号によるアラームデータの取得

データを取る(小)

通信機能RS232Cの機械



制御装置内のデータの取得

制御装置内へのデータ送信



データを取る(大)

通信機能LANの機械



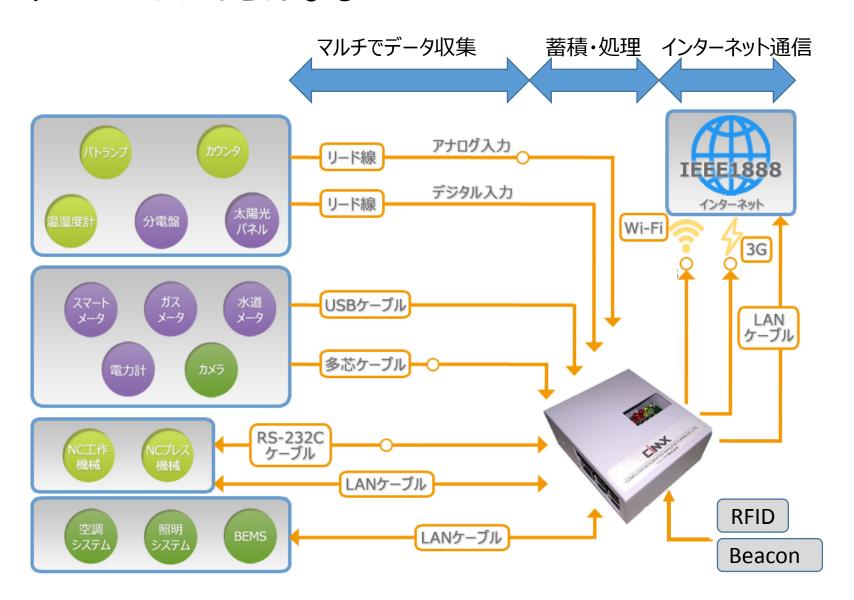
制御装置内のデータの取得



制御装置内へのデータ送信



マリンバM3ってどんなもの



概念実証(PoC)ではどんなことしたのか

STEP1 2017年1月

お試し スタート 「**稼動と電力の 見える化**」

対象機械 マシニングセンタ 4 台

対象IoT 電力 1×4点

MC1

MC2

MC3

MC4

STEP2 2017年9月

本格的な挑戦

「加工の見える化」と 2つの工場の設備のシェア リング

対象機械 放電加工機 2工場、9台

対象IoT 主幹電力、加工電力、 パトランプ3色 5×9点

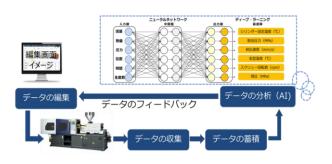


STEP3 2018年~

さらに拡張して 挑戦 「**成型条件の見える化**」 **からAI分析へ**

対象機械 射出成型機 台数未定

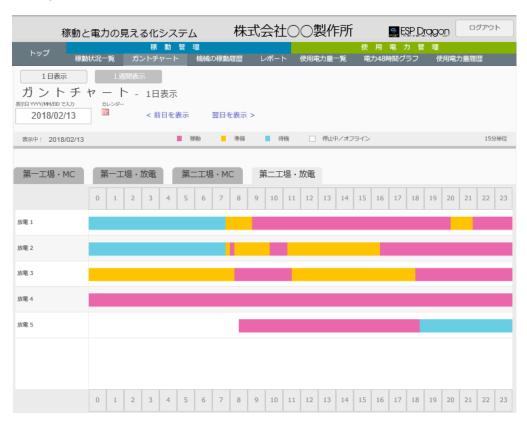
対象IoT 成型機内部のデータ 100点予定



STEP1.お試しの「稼動と電力の見える化」カイゼンのツボ

1 工場の機械稼動状況をリアルタイムのガントチャートでまとめて見て、考えた

ガントチャートのページをクリックすると、すべての機械の当日分がリアルタイムに見える。左上にあるカレンダーで日付を選ぶと過去履歴も見られる。



何で、こんなに稼動に バラツキが あるのだろう?



2 1か月まとめて気になる機械の稼動状態を見て、また考えた

見たい月と機械を選ぶと、縦軸に1日~30日、横軸に0時から23時のマスの中に稼働した時間が分単位で表示され、30分以上の場合は赤色になっている。

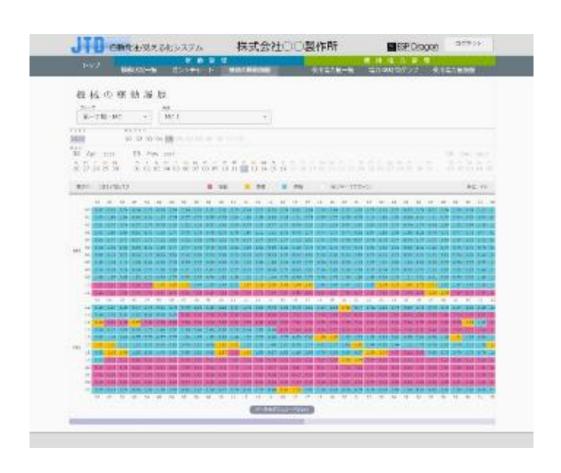


そうですね。1か月まとめて見ても、バラついていますね。



3 1日を1分ごとによく見てみた。動きの特徴がよく分かる。

オセロチャートと呼んでいる1440分のステータス色分けグラフである。

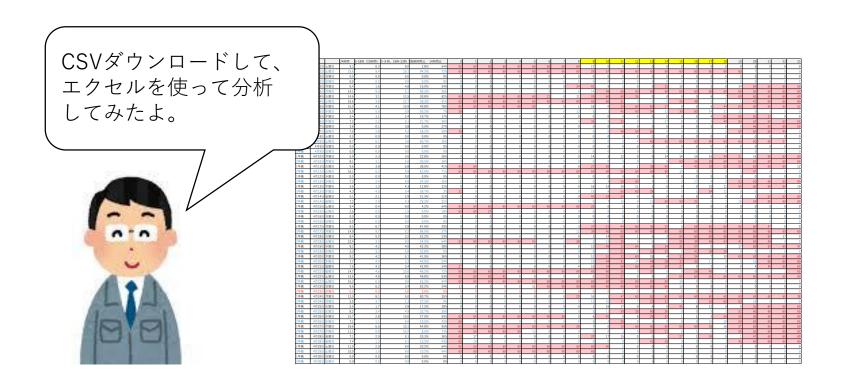


細かく見てみましょう。 どうも、夜間それも0時から朝までが動いていない ようです。



4 自分でデータを加工して、担当者別に分析をしてみた。

生データはCSV形式でダウンロードできる。 ユーザーは自由に自分なりの分析が可能となる。



STEP1.お試しの「稼動と電力の見える化」の導入効果 モチベーション

5 改善の"ツボ"が見える。改善の知恵と実行はユーザー自らの手による。

見える化の利点は、改善の"ツボ"を担当者から管理者まで全員で共有できる点にある。改善の仕方はユーザー自身で行わければならない。



ものの流れを変えてみよう。 担当者にも、意識を変えて もらおう。



6 オセロチャートをコミュニケーションツールとして利用する。

管理者と担当者のコミュニケーションは、科学的にデータを見ながらやる ことで、冷静で効率のよいコミュニケーションが取れる。

やってみます!



7 効果の見える化になります。

リアルタイムのオセロチャートを見ながらやることで効果がすぐわかり、モチベーションが上がる。



効果がすぐ見えるから、 やりがいがあります。

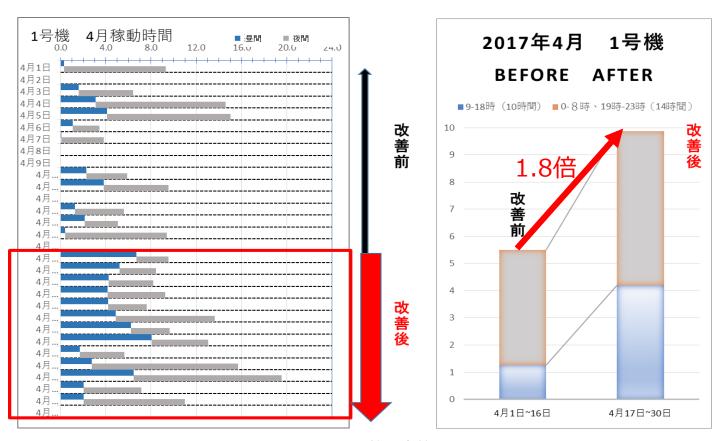
STEP1.お試しの「稼動と電力の見える化」の導入効果



STEP1.お試しの「稼動と電力の見える化」の導入効果

効果はすぐに現れた。

4月1日から16日までと改善した方法を取り入れてからの17日から30日までを比較すると、今まで気づかなかった午前0時以降の時間帯も加工が大幅に増えて、全体で1.8倍になった。



STEP2.本格的な挑戦 「加工の見える化」

STEP1.お試しとの違い 機械ごとにマリンバを1台設置して、5種類の信号を取得するようにした。

主幹電力

加工電力

パト緑色

パト黄色

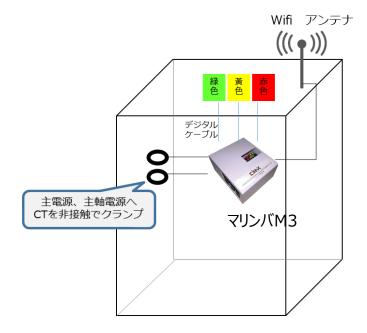
パト赤色

NC自動運転中

加工完了

アラーム

- * 実加工時間のデータを取れるようになった。
- *パトランプでは分からない、待機時間のデータを取れるようになった。
- *消費電力の実態が分かった。

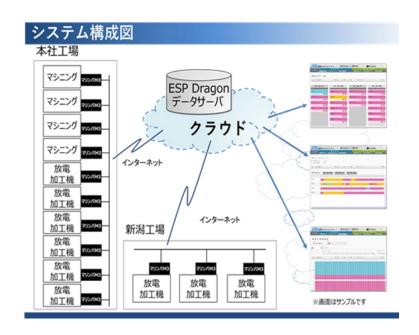


STEP2.本格的な挑戦 2つの工場の設備のシエアリング

STEP1.お試しとの違い 地理的に離れた工場の機械を同時につないだ

稼動の見える化による効果が見えたことで、次のステップに進めることにした。 2つに分かれている工場をヴァーチャルな情報空間を使って全社的な見える化 を行うことにした。

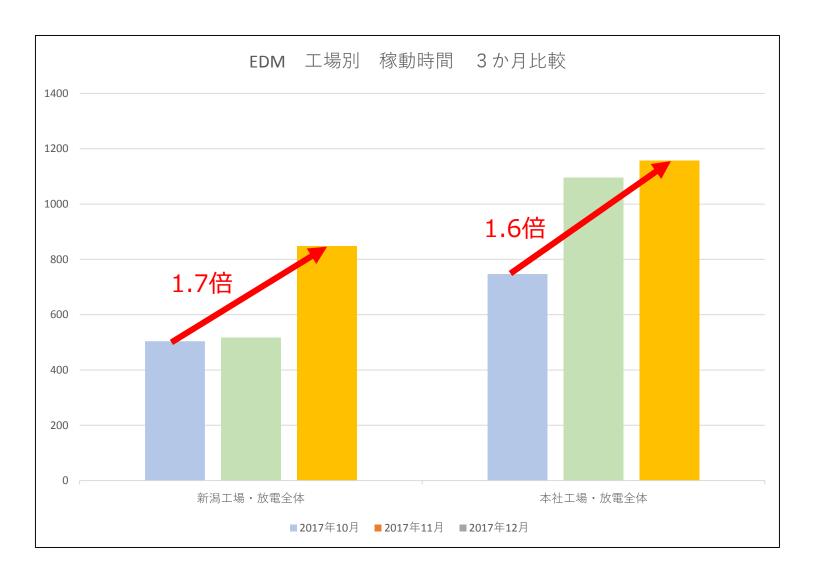




STEP2.本格的な挑戦 「加工の見える化」から2つの工場の設備のシエアリング

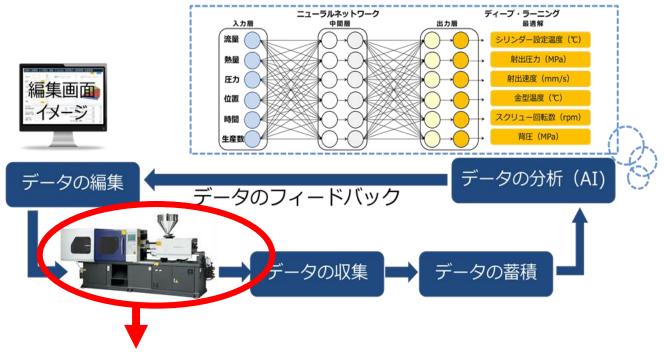


STEP2.本格的な挑戦 「加工の見える化」と2つの工場の設備のシエアリング 導入後の改善結果



STEP3.さらに拡張して挑戦 「成型条件の見える化」から AI分析へ

射出成形機のケース



マシンにあるデータを取得する

- ➡住友重機さんの協力
- ・マシンにない周辺機器のデータを取得する →金型温調器/JTDさんの協力
- *工作機械にくらべて10-20倍のデータがある
- ・ビックデータをAIを使って分析する

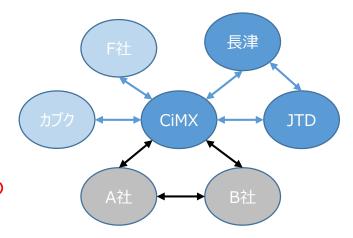
→カブクさんの協力

おわりに

メソッド/方法論はコピーできる

仮説検証とオープンな仕組み

テーマは連想ゲームのように広がる



Think together

(一緒に考えましょう)

Challenge together

(一緒に取組みましょう)

ご清聴ありがとうございました。

シムックス株式会社 中島高英